

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 12 月 20 日(2023.12.20)

【公開番号】特開 2023-126692(P2023-126692A)
【公開日】令和 5 年 9 月 7 日(2023.9.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-169
【出願番号】特願 2023-120198(P2023-120198)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 12 月 12 日(2023.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも第 1 態様から、その第 1 態様とは異なる複数の第 2 態様のうち、何れかの第 2 態様へと演出態様を可変させる第 1 演出を実行する第 1 演出実行手段と、
前記第 1 演出とは異なる第 2 演出を実行する第 2 演出実行手段と、を備えた遊技機において、

前記第 1 演出実行手段は、

前記第 1 演出の実行位置が前記第 2 演出の実行位置と重なる状況において前記第 2 演出を隠すように前記第 1 演出を実行可能であり、

30

前記演出態様が前記第 1 態様から前記第 2 態様へと第 1 タイミングで可変される前記第 1 演出と、前記第 1 タイミングとは異なる第 2 タイミングで可変される前記第 1 演出と、を
実行可能であり、

前記第 2 演出実行手段は、

前記第 1 演出が前記第 1 態様で実行されている状況よりも前記第 1 演出が前記第 2 態様で実行されている状況の方が遊技者が視認し易くなる位置を前記実行位置として前記第 2 演出を実行可能であり、

前記第 2 演出として、遊技者に付与される価値が第 1 価値となる第 1 価値態様を含む前記第 2 演出と、遊技者に付与される価値が前記第 1 価値とは異なる第 2 価値となる第 2 価値態様を含む前記第 2 演出と、を実行可能であることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機において、所定の価値を示す演出を実行するものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2012-179176号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

10

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、少なくとも第1態様から、その第1態様とは異なる複数の第2態様のうち、何れかの第2態様へと演出態様を可変させる第1演出を実行する第1演出実行手段と、前記第1演出とは異なる第2演出を実行する第2演出実行手段と、を備え、前記第1演出実行手段は、前記第1演出の実行位置が前記第2演出の実行位置と重なる状況において前記第2演出を隠すように前記第1演出を実行可能であり、前記演出態様が前記第1態様から前記第2態様へと第1タイミングで可変される前記第1演出と、前記第1タイミングとは異なる第2タイミングで可変される前記第1演出と、を実行可能であり、前記第2演出実行手段は、前記第1演出が前記第1態様で実行されている状況よりも前記第1演出が前記第2態様で実行されている状況の方が遊技者が視認し易くなる位置を前記実行位置として前記第2演出を実行可能であり、前記第2演出として、遊技者に付与される価値が第1価値となる第1価値態様を含む前記第2演出と、遊技者に付与される価値が前記第1価値とは異なる第2価値となる第2価値態様を含む前記第2演出と、を実行可能である。

20

30

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

40

50

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明の遊技機によれば、少なくとも第 1 態様から、その第 1 態様とは異なる複数の第 2 態様のうち、何れかの第 2 態様へと演出態様を可変させる第 1 演出を実行する第 1 演出実行手段と、前記第 1 演出とは異なる第 2 演出を実行する第 2 演出実行手段と、を備え、前記第 1 演出実行手段は、前記第 1 演出の実行位置が前記第 2 演出の実行位置と重なる状況において前記第 2 演出を隠すように前記第 1 演出を実行可能であり、前記演出態様が前記第 1 態様から前記第 2 態様へと第 1 タイミングで可変される前記第 1 演出と、前記第 1 タイミングとは異なる第 2 タイミングで可変される前記第 1 演出と、を実行可能であり、前記第 2 演出実行手段は、前記第 1 演出が前記第 1 態様で実行されている状況よりも前記第 1 演出が前記第 2 態様で実行されている状況の方が遊技者が視認し易くなる位置を前記実行位置として前記第 2 演出を実行可能であり、前記第 2 演出として、遊技者に付与される価値が第 1 価値となる第 1 価値態様を含む前記第 2 演出と、遊技者に付与される価値が前記第 1 価値とは異なる第 2 価値となる第 2 価値態様を含む前記第 2 演出と、を実行可能である。

10

20

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

よって、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

30

40

50

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50